



「第2期 豊田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 実績評価

1 「第2期 豊田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要

「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国の総合戦略及び愛知県の地方版総合戦略を勘案し、本市における5年間の基本目標や取組をとりまとめたもの（令和3年3月策定）。

第9次豊田市総合計画の策定（令和7年3月）に伴い、「豊田市まち・ひと・しごと創生総合戦略2030」を一体的に策定したため、終期を1年前倒しした。

（1）計画期間：令和3年度～令和6年度（4か年）※1年前倒しにより令和6年度が終期

（2）構成：5つの基本目標を設定し、目標指標、施策、KPI（重要業績評価指標）、事業を紐付け

基本目標①	しごとづくり	次代につながる産業や地域資源を生かした産業の活性化により、地域に活力と多様な働く機会や場を生み出す
基本目標②	人の流れ、賑わいづくり	多様な地域資源を生かした活動や交流により、まちの魅力や人のつながりを生み出す
基本目標③	子どもを生み育てる希望の実現	安心して子どもを生み育てられる環境をつくる
基本目標④	地域共生社会の実現	誰もが安心して、健やかに、自分らしく暮らせるまちをつくる
基本目標⑤	持続可能なまちづくり	安全・安心で豊かに暮らせる持続可能なまちをつくる

2 「第2期 豊田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価

（1）基本目標・施策の指標（KPI）の達成度

- 新型コロナウイルスの発生や感染拡大など社会的影響を大きく受ける指標については、設定した基準値や目標値が実態と著しく乖離が生じた。そのため、これらの指標については「その他」とする。
- 社会的影響を大きく受ける厳しい状況下におかれたが、着実な事業推進により、約6割の指標が概ね「達成」であった。
- とりわけ、「基本目標①しごとづくり」、「基本目標⑤持続可能なまちづくり」は全ての指標が「達成」であり、「基本指標③子どもを生み育てる希望の実現」は、約7割が「達成」であった。

（2）「住みよさ満足度」は計画期間中で高水準を記録

- 「住みよさ満足度」は約8割（81.7%（R7速報値））を記録し、人を呼び込むだけでなく世代を超えて住み続けたいと思うまちの実現を目指して着実に推進してきた。

（3）各種ランキングにおいて高い評価

- 平成28年に全47都道府県幸福度ランキング中核市総合1位を獲得して以降、令和6年の調査まで5回連続、10年間中核市総合1位を獲得（一般社団法人日本総合研究所）。
- 日経グローバル令和6年度の全国市区「SDGs先進度調査」で1位を獲得。

区分	達成	概ね達成	その他	合計
基本目標① しごとづくり	5	2	0	7
基本目標② 人の流れ・賑わいづくり	4	2	6	12
基本目標③ 子どもを生み育てる希望の実現	6	0	3	9
基本目標④ 地域共生社会の実現	2	0	9	11
基本目標⑤ 持続可能なまちづくり	9	0	0	9
合計	26(54%)	4(8%)	18(38%)	48

「達成」⇒達成度が100%以上 「概ね達成」⇒達成度が70%以上

「その他」⇒新型コロナウイルス感染症等の影響を受けたことにより判定不可の指標、参照していた統計が公表されなくなったこと等により数値が把握できなくなった指標

3 国の交付金等事業の活用状況

（1）交付金等

→令和3年度～令和6年度（4年間）で、7事業に対し総額818,307千円余の交付金を活用
令和6年度は、2事業に対し総額252,644千円余の交付金を活用。

【令和6年度：交付金活用事業】

- ・世界ラリー選手権（WRC）をいかした三河・東濃地域の山村及び産業振興に向けたまちづくり事業
- ・地域内経済循環創出に向けたSDGs「認証」制度の構築及び市民行動の促進

（2）企業版ふるさと納税

→令和3年度～令和6年度（4年間）で、24事業に対し総額195,185千円の寄付を受領。
令和6年度は、13事業に対し総額53,805千円（R5年度：27,180千円）の寄附を受領。

【令和6年度：主な寄付事業】

- ・FIA世界ラリー選手権（WRC）をいかした地域まちづくり事業
- ・脱炭素プロジェクト
- ・森林環境教育・ボランティア活動支援事業 等

「第2期 豊田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 実績評価

【参考1】「豊田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2030」の概要

地方版総合戦略の目的である、“人口減少下においても様々な主体とのつながりによって、持続可能な活力あるまちを実現すること”が、第9次豊田市総合計画の理念と一致しているため、総合計画と一体的に豊田市総合戦略（「豊田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2030」）を策定（令和7年3月）。

（1）計画期間：令和7年度～令和11年度

（2）地域ビジョン：つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた

（3）構成：5つの基本目標を設定し、目標指標、施策、KPI（重要業績評価指標）等を設定

基本目標①	しごとづくり	- 産業構造の大転換の中で、人口吸引力の維持・創出に向け、次世代モビリティを始めとする次代につながる産業の拠点として、ものづくり産業をリードするとともに、新たな産業の創出に取り組む。 - 産業振興に必要な人材の確保・育成、デジタル技術の活用等による労働環境の改善や生産性の向上、女性を始めとする誰もが活躍できる多様な働き方・仕事の創出を支援する。
基本目標②	人の流れ・にぎわい・地域への愛着づくり	- 豊田市ならではの魅力を発信し、関係人口づくりや定住を促進するため、山村部を始め地域資源の磨き上げや都市部の機能向上等を進める。 - 地域への愛着形成と多様なライフスタイルの実現に向けた豊田市らしい暮らしの価値の創造・発信に取り組む。
基本目標③	結婚・出産・子育ての希望を叶え、こどもの成長を支える	- 希望する誰もが安心して結婚や妊娠、出産、育児ができる環境を創出するため、自分の望む家族の在り方やライフスタイルが実現できる地域づくりに取り組む。 - 予測が困難な変化の激しい社会において、豊田市のミライを担うこどもがこども同士や多世代とのつながりの中で、ミライを生き抜く力と自己肯定感を養い、希望する生き方・暮らし方を選択できる地域づくりに取り組む。
基本目標④	人生100年時代をいきいきと暮らせる魅力的な地域をつくる	人生100年時代といわれる中、つながりを通じて、誰もが自分らしく豊かな人生の実現に向けた、多様な学び合いの機会の創出を図るとともに、全ての人がいきいきと活躍し続けられる地域づくりに取り組む。
基本目標⑤	持続可能なまちづくり	激甚化・頻発化する自然災害や気候変動の影響による自然環境の変化に対応するため、安全・安心なまちづくりや脱炭素社会の実現に向けた様々な取組を展開する。

【参考2】国の交付金等事業の活用状況（期間内詳細）

（1）交付金等

No	事業名	実施年度	交付額(千円)
1	様々な生活シーンに対応し、社会インフラと強調する、先進モビリティ活用事業	R3	2,369
2	道の駅どんぐりの里いなぶ仕事と交流の拠点整備計画	R3	118,482
3	足助地域核エリア再生事業	R3～R4	14,578
4	世界ラリー選手権（WRC）をいかした三河・当濃地域の山村及び産業振興に向けたまちづくり事業	R3～R6※	645,965
5	映画を活かしたまちづくり事業	R3～R5	19,190
6	地域内経済循環創出に向けたSDGs「認証」制度の構築及び市民行動の促進	R4～R6	11,702
7	若者の交流創造拠点整備事業	R5	6,022

※上記「4」については、令和7年度も交付金等事業として継続中

（2）企業版ふるさと納税

No	寄付事業名	寄付年度
1	副業・プロボノ人材活用プログラム	R3
2	とよた健康マイレージ	R3
3	きめ細かな教育推進事業	R3
4	自主防災活動支援事業	R3
5	日本語教育促進事業	R3
6	里モビ LIFE プロジェクト	R3～R6
7	観光振興事業寄付金（ゾッキ制作費等として）	R4
8	生き抜く力を育む学校教育の推進事業	R4～R6
9	FIA 世界ラリー選手権（WRC）をいかした地域まちづくり事業	R4～R6
10	障がいの理解と意思疎通の推進事業	R4
11	基幹バス運行事業	R5
12	豊田市ゆかりのアニメ映像等の活用・製作によるまちづくり事業	R5～R6
13	インフラDX推進事業	R5～R6
14	森林環境教育・ボランティア活動支援事業	R5～R6
15	若者による脱炭素推進プロモーション事業「New VibeZ」	R5
16	稲武地区養蚕製糸文化伝承事業	R5～R6
17	鞍ヶ池公園管理用備品購入事業	R5
18	重要文化財旧鈴木家住宅復活プロジェクト	R5
19	「旭高原元気村」施設再整備事業	R6
20	脱炭素プロジェクト	R6
21	子ども食堂支援事業	R6
22	香嵐渓100年プロジェクト事業	R6
23	オープンノベーション推進事業	R6
24	安心して子どもを預けられる環境の整備事業	R6